

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2021年10月23日

ベータ株を忘れるな！病原性が高そうだ

【松崎雑感】

今日は8月に発表されたNatureの論説の紹介です。ベータ変異株は、実は、現在のコロナワクチンに最も大きな抵抗性を示す変異株なのです。

もしこれが全世界に広まったなら、現在の主流株のデルタよりも大きな被害をもたらすおそれがあります。

ただし、ワクチンメーカーは、ベータ株などに対しても、備えを準備しているという情報は明日以降提供します。

ベータ株を忘れるな！病原性が高そうだ

Callaway E. Remember Beta? New data reveal variant's deadly toll. *Nature*. 2021 Aug 9. doi: 10.1038/d41586-021-02177-3. Epub ahead of print. PMID: 34373640.

最初に南アフリカで発見されたベータ変異株に感染すると死亡率が高いようだ

ベータ株に感染すると重篤となり死亡するリスクが他の変異株より高い可能性がある。

2020年末に南アフリカで発見され、この国の第二波をもたらした。当初 B.1.351 と命名された。

南アフリカの第二波では、ベータ株の流行により重症者が多くなった。

カタール、ワイル・コーネル医科大学の感染症疫学専門家ライス・ジャマル・アブ・ラダッド氏はカタールの患者を調査して、ベータ株が重症化をもたらしているかどうかを検討した。

当時カタールでは、ベータ株とアルファ株が流行していた。

研究チームはベータ株とデルタ株の比較を行わなかった。

デルタ株は現在世界全体に広がり、重症化をもたらすと考えられている。

プレプリント論文によれば、ベータ株に感染した場合、アルファ株よりも重症化リスクが25%増加し、ICUケアが50%増加し、死亡リスクが57%高かった。

アブ・ラダッド氏は、実際にカタールでベータ株が流行すると、入院患者数が倍増し、ICU管理患者が4倍に増えた。

「まぎれもなくこの株は病原性が高い」と彼は語った。

この研究規模は小さいが、結論は重要である。

なぜなら年齢や性別分布が等しい集団に対する2種類の変異株の感染状態を綿密に調査しているからである。

南アフリカ、ヨハネスバーグの国立感染症研究所のワシリア・ジャサット氏は、南アフリカの第二波の死亡率は第一波の30%増だったと報告している。

このようなベータ株の病原性の高さを認識しておくことが、今後の感染対策に重要であると彼女は語っている。

感染力の高いデルタ変異株が流行するにつれて、ベータ株は南アフリカやカタールなど多くの地域で減退している。

しかし阿布・ラダッド氏は、ベータ株の方が、デルタ株など他の変異株よりワクチン免疫をすり抜けやすいため、再び再流行を起こすおそれがあると警告している。

「ベータ株を軽視してはならない」